

[第5学年及び第6学年]目標(「学びに向かう力、人間性等」の単元目標)

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 - (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
- 「学習内容」…△知識・技能 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと

学期	月	時数	単元名／教材名／教科書ページ 学習内容 ★ここが大事／☆学習用語	領域	時	評価規準 学習指導要領との対応
1学期	4月	2 (話す聞く2)	質問に答えるかたちで自分のことを話そう 自分との対話 教科書:P8 ◇自分のことを客観的に捉えて話す。	話聞	1	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A(2)ア)
					2	【態度】 ・積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
1学期	4月	1	楽しく声に出して読もう 風景 純銀もざいく 教科書:P10 □繰り返しの響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 ☆学習用語: 音読／詩	読む	3	【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク) ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C(2)イ) 【態度】 ・すすんで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
1学期	4月	2	一 情景描写に着目して感想を話し合おう あの坂をのぼれば 教科書:P14 □情景描写に着目して登場人物の心情の変化を想像し、物語の読みを深める。 ★ここが大事: 物語の読みを深める ☆学習用語: 登場人物／情景／作者	読む	1	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)
					2	【言語活動例】

1学期	4月	3 (書く3)	<p>図に表して整理しよう 考えを図や表に 教科書:P22</p> <p>■目的や意図に応じて、考えや意見を図に書き出して、関係づけたり比較したりすることができる。</p> <p>☆学習用語: 課題/情報/インターネット/比べる/共通点/相違点</p>	書く	1	<p>【知識・技能】</p> <p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p>
					2	<p>【態度】</p> <p>・粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。</p>
					3	
1学期	5月	4 (書く1)	<p>言葉の文化① 春はあけぼの 教科書:P24</p> <p>△『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふうの文章を書く。</p>	文化	1	<p>【知識・技能】</p> <p>◎親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ)</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)イ)</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)</p> <p>【態度】</p> <p>・すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。</p>
					2・3	
					4	
1学期	5月	2	<p>言葉の広場① 主語と述語の対応をかくにんしよう 教科書:P30</p> <p>△主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。</p> <p>☆学習用語: 主語/述語/伝える/漢字</p>	言語	1	<p>【知識・技能】</p> <p>◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に主語と述語の対応について理解し、これまでの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。</p>
					2	
1学期	5月	1	<p>漢字の広場① 三字以上の熟語の構成 教科書:P32</p> <p>△三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもつ。</p> <p>☆学習用語: 構成/熟語/話し合う</p>	漢字	1	<p>【知識・技能】</p> <p>◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>【態度】</p> <p>・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。</p>

1学期	5月	1 (書く1)	五年生で学んだ漢字① 教科書:P34 △絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	2	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
1学期	5月	1	二 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう アイスは暑いほどおいしい?—グラフの読み取り 教科書:P36 □グラフについての説明を生かしてグラフを読み取り、全体の傾向や変化について説明する。 ☆学習用語: グラフ/傾向/最大値/最小値/変化	読む	1	【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) 【言語活動例】 ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア) 【態度】 ・すすんでグラフの意味や構成要素を理解しようとし、これまでの経験を生かし、どのような傾向や変化が読み取れるか、考えようとしている。

1学期	5月	6 (書く2)	<p>二 文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう 雪は新しいエネルギー——未来へつなぐエネルギー社会 教科書:P38</p> <p>□雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係について、文章と資料を合わせながら読み、筆者の説明の仕方について考えをまとめる。</p> <p>★ここが大事: 筆者の説明の工夫をとらえる</p> <p>☆学習用語: 課題/事実/事例/文章/結果/分析</p>	読む	1	<p>【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア)</p> <p>◎「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p> <p>・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C(2)ア)</p>
				2	3・4	5・6
1学期	6月	6 (話す聞く6)	<p>三 立場を明確にして主張しよう パネルディスカッション——地域の防災 教科書:P52</p> <p>◇意見の違いを大事にしながらか話し合い、考えを深める。</p> <p>★ここが大事: 立場を決めて話し合う</p> <p>☆学習用語: 立場/討論/パネラー/パネリスト/パネルディスカッション/フロア/主張/要点/共通点/相違点</p>	話聞	1	<p>【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1オ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)</p> <p>【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。(A(2)ウ)</p> <p>【態度】 ・意見の違いを大事にしながらか粘り強く話し合い、学習の見直しをもって考えを深めようとしている。</p>
				2		
				3		
				4・5		
				6		

1学期	6月	4 (書く4)	<p>三 立場を明確にして主張しよう みんなで作ろうパンフレット 教科書:P58</p> <p>■相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。</p> <p>★ここが大事:パンフレットで知らせる</p> <p>☆学習用語:パンフレット/パネルディスカッション/立場/構成/アンケート</p>	書く	1	<p>【知識・技能】 ◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p> <p>【態度】 ・積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題にそってパンフレットを作ろうとしている。</p>
					2	
					3	
					4	
1学期	6月	1 (書く1)	<p>言葉の文化② 雨 教科書:P62</p> <p>△「雨」を扱った言語表現を集め、日本語の豊かさに気づく。</p>	文化	1	<p>【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【言語活動例】 ・短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)イ)</p> <p>【態度】 ・粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。</p>

1学期	6月	2	言葉の広場② 世代による言葉のちがひ 教科書:P64 △世代による言葉遣いのちがひについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようにする。 ☆学習用語: 世代による言葉の違い	言語	1	【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらい計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A1)オ 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。(A2)イ 【態度】 ・積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し、学習課題にそって相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
					2	
1学期	6月	1	漢字の広場② 複数の意味をもつ漢字 教科書:P66 △複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に関心をもつ。 ☆学習用語: 象形文字	漢字	1	【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
1学期	6月	1 (書く1)	五年生で学んだ漢字② 教科書:P68 △絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	2	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B1)イ 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
1学期	7月	7 (話す聞く2)	四 表現が読み手にあたえる効果について考えよう 川とノリオ 教科書:P70	読む	1	【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ 【思考・判断・表現】

			<p>□優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、優れた表現についての感想を話し合う。</p> <p>★ここが大事：すぐれた表現を読む</p> <p>☆学習用語：擬人法／体言止め／比喻／情景／心情／朗読</p>		<p>1・2</p> <p>○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C(2)イ)</p>
					<p>3</p> <p>【態度】</p> <p>・すすんで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。</p>
					<p>4</p>
					<p>5</p>
					<p>6</p>
					<p>7</p>
1学期	7月	1	<p>読書の広場①</p> <p>地域の施設を活用しよう</p> <p>教科書:P92</p> <p>△身のまわりに情報を集めることのできる施設があることを知る。</p>	読書	<p>1</p> <p>【知識・技能】</p> <p>◎情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。(C(2)ウ)</p> <p>【態度】</p> <p>・地域の施設について調べ、情報収集のための活用方法を考えている。</p>
1学期	7月	1	<p>読書の広場②</p> <p>ひろがる読書の世界</p> <p>教科書:P94</p> <p>△特別な一冊を紹介したり、伝記の人物から学んだことを漢字で表したりする活動をとおして、日常的に読書に親しむ。</p>	読書	<p>1</p> <p>【知識・技能】</p> <p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p> <p>【言語活動例】</p> <p>・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C(2)イ)</p> <p>【態度】</p> <p>・読書生活を振り返り、「特別な一さつ」を紹介し合ったり、これからの読書生活を考えたりしている。</p>

2学期	9月	2 (話す聞く2)	相手の思いを考えながら聞こう 聞かせて！「とっておき」の話 教科書:P96 ◇話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる。	話聞	1	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【言語活動例】 ・インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。(A(2)イ) 【態度】 ・積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
					2	
2学期	9月	1	詩を読もう イナゴ 教科書:P98 □凝縮された言葉の美しさや豊かさを味わいながら、詩の世界を楽しむ。 ☆学習用語: 連	読む	1	【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク) ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ) 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C(2)イ) 【態度】 ・積極的に言葉の広がりを楽しむ、学習課題にそって詩の世界を楽しもうとしている。
2学期	9月	1 (書く1)	言葉の文化③ 「知恵の言葉」を集めよう 教科書:P100 △昔から広く継承されてきた「知恵の言葉」を知ることによって、言語文化の奥深さに気がつくとともに、自らの体験をもとに新たな「知恵の言葉」を創作する。	文化	1	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア) 【態度】 ・すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」を作ろうとしている。
2学期	9月	5 (書く5)	五 てんかいを工夫して物語を書こう あなたは作家	書く	1	【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関

教科書:P102

■写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。

★ここが大事:物語を作る

☆学習用語:中心人物/視点/クライマックス
/やま場/情景描写

2

係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)

【思考・判断・表現】

◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ)

【言語活動例】

・短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。(B(2)イ)

3

【態度】

・積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題にそって写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。

4

5

2学期	9月	3 (話す聞く1)	言葉の広場③ なぜ、わかり合えなかったのかな？ 教科書:P108 △伝え方次第で相手に自分の考えが伝わらないことを理解し、自分の考えを適切に伝える。	言語	1	【知識・技能】 ◎言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(1)ア) 【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)
					2	【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。(A(2)ウ) 【態度】 ・すすんで、言葉には伝え方次第で相手に自分の考えがうまく伝わらないことに気づき、見通しをもって、自分の考えを適切に伝えようとしている。
					3	
2学期	9月	1	漢字の広場③ 熟語の使い分け 教科書:P112 △意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。 ☆学習用語:熟語	漢字	1	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって、意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。
2学期	9月	1 (書く1)	五年生で学んだ漢字③ 教科書:P115 △絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。	漢字	2	【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア) 【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

2	9月	1 (話す聞く1)	<p>国語の学習 つながる ひろがる 教科書:P116</p> <p>◇半年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。</p>	話聞	<p>1</p> <p>【知識・技能】 ○話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【態度】 ・積極的に上巻の教科書での国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。</p>
---	----	--------------	--	----	--

2学期	9月	8 (書く2)	ー ファンタジーを読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓 教科書:P8 □登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。 ★ここが大事:ファンタジーを読む	読む	1	【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)
					1~3	
					4・5	【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ) ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1)オ) 【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ) 【態度】 ・すすんで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。
					6	
					7	
				8		
2学期	10月	4 (書く1)	言葉の文化④ 言葉は時代とともに 教科書:P30 △言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。 ☆学習用語:言葉づかい/歴史的仮名遣い	文化	1・2	【知識・技能】 ◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ) 【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B1)カ)
					3	【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B2)ア)
					4	【態度】 ・積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題にそって自分の考えをまとめようとしている。

2学期	10月	6 (書く6)	<p>二 説得力のある文章を書こう 十二歳の主張 教科書:P38</p> <p>■理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書く。</p> <p>★ここが大事:説得力をもたせて書く/推敲する</p> <p>☆学習用語:課題提起/結論/序論/本論/投書</p>	書く	1	<p>【知識・技能】 ◎文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ) ◎「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)</p> <p>【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p>
					2	<p>【態度】 ・積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題にそって理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
					3・4	
					5	
					6	
2学期	11月	1	<p>漢字の広場④ 音を表す部分 教科書:P44</p> <p>△形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。</p> <p>☆学習用語:漢字/共通点/様子/熟語/発表/形声文字</p>	漢字	1	<p>【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ)</p> <p>【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>
					2	<p>【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)</p> <p>【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
2学期	11月	1 (書く1)	<p>五年生で学んだ漢字④ 教科書:P46</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、五年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p>	漢字	2	<p>【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)</p> <p>【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>

2学期	11月	1	<p>三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう あなたはど感じる？ 教科書:P48</p> <p>□友達と自分の感じ方の違いについて考える。</p>	読む	1	<p>【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2ア)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1オ)</p> <p>【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2イ)</p> <p>【態度】 ・すすんで友達と自分の感じ方の違いについて考えようとし、見通しをもって、『ぼくの世界、君の世界』の学習に生かそうとしている。</p>
2学期	11月	7 (書く1)	<p>三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう ぼくの世界、君の世界 教科書:P50</p> <p>□筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。</p> <p>★ここが大事:筆者の論じ方</p> <p>☆学習用語:要旨</p>	読む	1・2	<p>【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2ア)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1ウ)</p>
					3・4	◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1オ)
					5	◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1カ)
					6・7	<p>【言語活動例】 ・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたことを書く活動。(B2ア)</p> <p>・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C2ア)</p> <p>【態度】 ・学習の見通しをもって、筆者の考えに気をつけながら文章の要旨を捉えるとともに、自分の経験をふり返りながら「心の世界」について考えようとしている。</p>

2学期	11月	4 (書く1)	<p>三 自分の経験と重ねて読み、考えを広げよう 「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう 教科書:P62</p> <p>◇お互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、共通点や相違点をもとに分類する。</p> <p>★ここが大事: 伝え合う努力をするために</p>	話聞	1	<p>【知識・技能】 ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A1)エ) ○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめている。(A1)オ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B1)ウ)</p>
					2	<p>【言語活動例】 ・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。(A2)ウ)</p> <p>【態度】 ・積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>
					3	<p>【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B2)ウ)</p>
					4	
2学期	12月	3 (話す聞く1)	<p>読書の広場③ 「読書タイムライン」を作って交流しよう 教科書:P66</p> <p>△読書タイムラインを作成することをとおして、今までの読書を振り返り、日常的に読書に親しむ。</p>	読書	1	<p>【知識・技能】 ◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。(3)オ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ)</p>
					2	<p>【言語活動例】 ・学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。(C2)ウ)</p> <p>【態度】 ・見通しをもって「読書タイムライン」を作成し、読書履歴などを振り返りながら、粘り強く自分が作った本について考えようとしている。</p>
					3	
2学期	12月	2	<p>言葉の広場④ その場にふさわしい言い方 教科書:P70</p> <p>△話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。</p> <p>☆学習用語: 敬意／謙譲語／尊敬語／敬語</p>	言語	1	<p>【知識・技能】 ◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。(1)キ)</p> <p>【態度】 ・積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題にそって敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。</p>
					2	

2学期	12月	1	<p>詩を読もう 紙風船 教科書:P74</p> <p>□詩を朗読して表現の効果について考え、人物像を具体的に想像する。</p> <p>☆学習用語: 繰り返し(反復)／比喻／倒置法</p>	読む	1	<p>【知識・技能】 ◎比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク ◎文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C1)エ</p> <p>【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C2)イ)</p> <p>【態度】 ・すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。</p>
2学期	12月	3	<p>四 筆者の書き方の工夫を見つけよう 「迷う」 教科書:P76</p> <p>□筆者のものの見方や感じ方などに触れるとともに、随筆の文章の特徴を捉える。</p> <p>★ここが大事: 文章の特徴をとらえて表現に生かす</p> <p>☆学習用語: 随筆</p>	読む	1 2 3	<p>【知識・技能】 ◎文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C1)オ) ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C1)カ)</p> <p>【言語活動例】 ・説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。(C2)ア)</p> <p>【態度】 ・今までの学習を生かして、積極的に文章の特徴について理解するとともに、筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。</p>

2学期	12月	5 (書く5)	<p>五 伝えたいことを明確にして書こう 六年間の思い出をつづろう—卒業文集 教科書:P86</p> <p>■事実や経験をもとに、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について考えたことを文章に書く。</p> <p>★ここが大事: 思い出を卒業文集に書く</p>	書く	1	<p>【知識・技能】 ◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)</p> <p>【態度】 ・自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとしている。</p>
					2	
					3	
					4	
					5	
3学期	1月	2 (話す聞く1・書く1)	<p>言葉と私たち 教科書:P90</p> <p>◇■言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心をもつ。</p> <p>☆学習用語: 教訓／尊敬語／謙譲語</p>	話・書	1	<p>【知識・技能】 ◎話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。(1)イ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ)</p> <p>◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A(2)ア)</p> <p>・事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。(B(2)ア)</p> <p>【態度】 ・すすんで言葉に対する自分の考えをもち、友達と交流したり書いたりすることをおして、言葉への関心を広げようとしている。</p>
					2	
3学期	1月	1	<p>漢字の広場⑤ 同じ訓をもつ漢字 教科書:P92</p> <p>△異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分ける。</p>	漢字	1	<p>【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。</p>

3学期	1月	1 (書く1)	<p>五年生で学んだ漢字⑤ 教科書:P94</p> <p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p>	漢字	<p>2</p> <p>【知識・技能】 ◎第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>【言語活動例】 ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)</p> <p>【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
-----	----	------------	---	----	---

3学期	2月	11 (書く3)	<p>六 伝記を読んで、生き方について自分の考えをまとめよう 津田梅子——未来をきりひらく「人」への思い 教科書:P96</p> <p>□伝記を読んで、登場人物の生き方をもとに、自分の未来について考える。</p> <p>★ここが大事: 伝記を読む</p> <p>☆学習用語: 人物像／伝記／関係図</p>	読む	1	<p>【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)</p> <p>【言語活動例】 ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。(C(2)イ)</p> <p>【態度】 ・学習課題にそって津田梅子の生き方を考えた後、自分のこれまでに会った人やもの・こととのつながりを思い出し、積極的に自分の考えをまとめようとしている。</p>
					2~4	
					5・6	
					7~9	
					10	
					11	
3学期	2月	2	<p>言葉の広場⑤ 日本語の文字 教科書:P114</p> <p>△日本語の文字の由来や特徴に関心をもち、適切に使い分けすることができる。</p> <p>☆学習用語: 会意文字／指事文字／象形文字／形声文字／訳／万葉仮名／仮名／外来語</p>	言語	1	<p>【知識・技能】 ◎語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p> <p>【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A(2)ア)</p> <p>【態度】 ・積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
					2	
3学期	2月	1	<p>漢字の広場⑥ さまざまな読み方／特別な読み方の言葉 教科書:P120</p> <p>△同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもち。</p>	漢字	1	<p>【知識・技能】 ◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)</p> <p>【態度】 ・積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもちようとしている。</p>

3学期	2月	3 (話す聞く1・ 書く2)	ひろがる言葉 出会った言葉をふり返ろう 教科書:P123 ■卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望をもつ。	話・書	1	【思考・判断・表現】 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ◎「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ) 【言語活動例】 ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。(A(2)ア) ・事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。(B(2)ウ)
					2	【態度】 ・積極的に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望をもとうとしている。
					3	